

GIMP^{*1}の使い方

(C)岩間直人/2013



GIMPのマスコットキャラクター
Wilber(ウィルバー)君

- ・本書は、「4つの機能でデジカメ写真は生まれ変わる一文字の大きなJTrim入門」を卒業した人向け用なので、各機能の解説は省いている。
- ・本書は、Windows XP+GIMP2.8.2で、記述している。
- ・GIMPは、GNU画像編集プログラム(無料ソフトウェア)です。

目次

1. はじめに(まず覚えること)

- (1) 画面構成
 - ① マルチ-ウィンドウ 2
 - ② シングル-ウィンド 4
- (2) ファイルを開く 5
- (3) 上書き保存 5
- (4) 名前を付けて保存 5
- (5) 元に戻す(Undo) 5
- (6) 元に戻すの取り消し(Redo) 5
- (7) GIMPの範囲選択について 7

2. JTrim式4つの機能

- (1) トリミング(切り取る)の方法
 - ① 基本技 11
 - ② 高等技 13
- (2) 回転させる、グリッド表示 14
- (3) ガンマ補正の方法 16
- (4) シャープ化の方法 18

3. その他

- (1) リサイズ(縮小)する 19
- (2) 余白を大きくする 25
- (3) [難]組写真の方法 26
- (4) [難]合成貼り付けの方法 28
- (5) 写真に文字を入れる 29
- (6) グレースケール化 33
- (7) [新]遠近法 34
- (8) [新]写真の修正 35
- (9) [新]形を切り取る 37

4. おまけ

- (1) GIMPと日本語ヘルプファイルのダウンロード等について
(2) GIMPのツールオプションが消えたら

1. はじめに(まず覚えること)

(1)画面構成

【マルチ・ウィンドウの場合】
…デスクトップPC向き



起動すると、3つのウィンドウが開く。(図1)

- 左から、①ツールボックスウィンドウ
②イメージウィンドウ
③レイヤー/チャンネル/作業履歴ドック

①ツールボックスパネルについて(図2)



- ……(上)ツールボックス
 - ……アイコン(ツール)ボタン
 - [よく使うボタン]
 -  範囲指定ツール
 -  切り取り(トリミング)ツール
 -  リサイズ(拡大/縮小)ツール
 -  回転ツール
- ……前景/背景の色
(注: 選択したツールによって変わる)
- ……(下)ツールオプション
(注: 選択したツールによって項目が変わる)

③レイヤー/チャンネル/作業履歴ドックについて
あまり使わないので、閉じても良い。→補遺1(P.2)を参照

②イメージウィンドウについて

- ・イメージウィンドウは、写真等の画像1枚に1ウィンドウです。
- ・パソコンのメモリーが許す範囲で、何枚も開くことができます。



図3 イメージウィンドウの構成

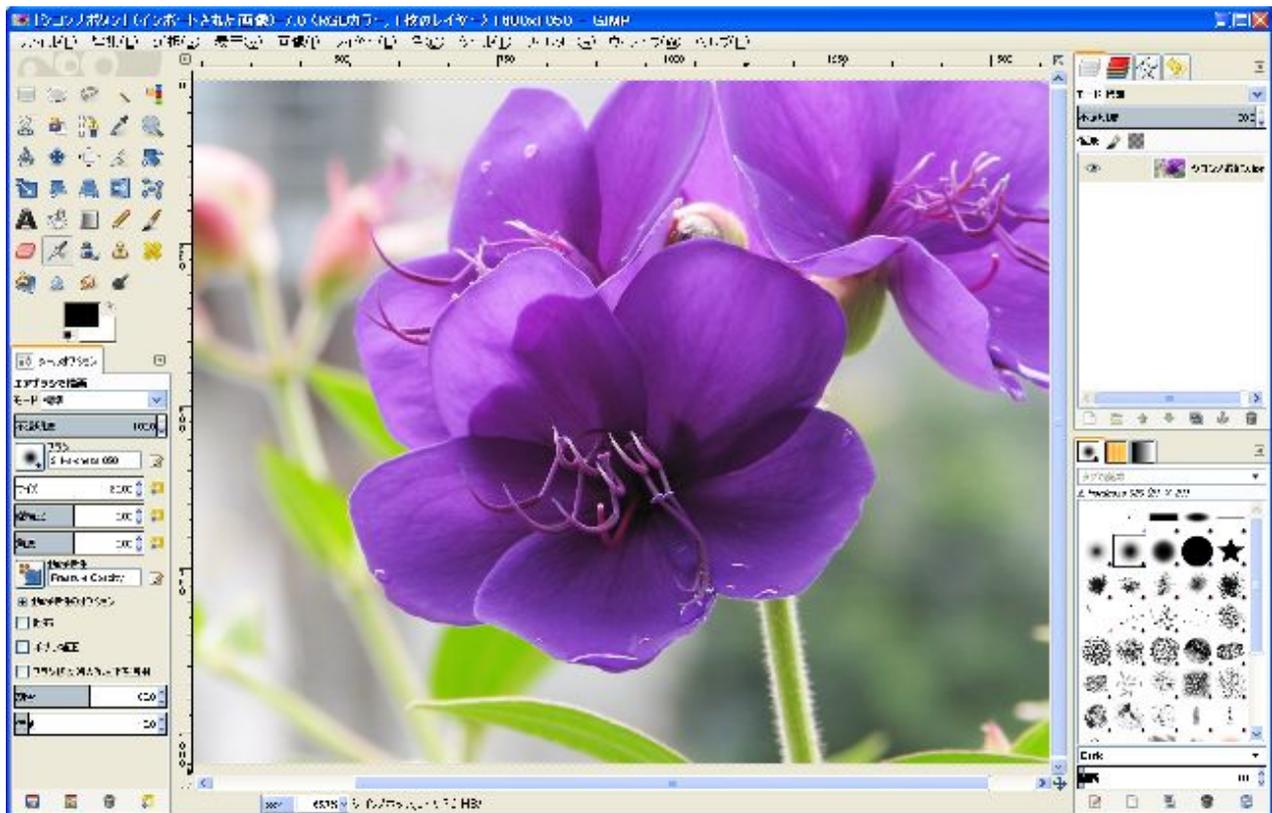
- | | |
|---------------------------|---------------------|
| ① タイトルバー | ② イメージメニュー |
| ③ メニューボタン | ④ 縦/横ルーラー(定規) |
| ⑤ クイックマスクモード | ⑥ ポインター(マウスカーソル)座標 |
| ⑦ 単位メニュー(ピクセル/インチ/ミリ(mm)) | ⑧ ズームボタン |
| ⑨ ステータスバー | ⑩ 中止ボタン |
| ⑪ キャンバス | ⑫ イメージウィンドウ・リサイズボタン |

補遺1:

非表示にしたレイヤー/チャンネル/作業履歴ドックは、次の方法で表示できます。

1. **【メニュー】**の[ウィンドウ-最近閉じたドック]コマンドを実行する。
2. 「レイヤー、チャンネル、パス、作業履歴……」があるので、クリックする。

【シングルウィンドの場合】…ノートPC向き



起動すると、3つのパネルが表示する。(図4)

※右と左のパネルは、固定されている。(自由に位置を変えられない)

- ①ツールボックス
- ②イメージエリア
- ③レイヤー/チャンネル/作業履歴パネル

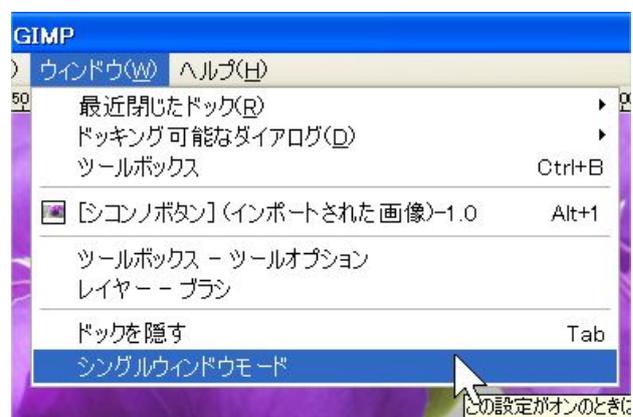
※各パネル内の構成は、マルチウィンドウと同じです。

シングルウィンドウは、ノートPCや写真加工だけの人にお勧めです。

シングル/マルチウィンドウの切り替え方法 (図5)

1. **【メニュー】**[ウィンドウ-シングルウィンドウモード]
コマンドを実行する。

※シングルウィンドウにする前に、レイヤー/チャンネル/作業履歴ドックを非表示にしておくといよ。



(2)ファイルを開く

- ・GIMPは、メモリの許す範囲で複数の画像ファイルを開くことができる。

【メニュー】 [ファイル-開く/インポート] コマンド

【キーボード】 [Ctrl]+[O]キー

【その他】 画像ファイルをイメージ・ウィンドウにドラッグ&ドロップする。

(3)上書き保存

【メニュー】 [ファイル-保存] コマンド

【キーボード】 [Ctrl]+[S]キー

《重要》

(4)名前を付けて保存

【メニュー】 [ファイル-**エクスポート**] コマンド

【キーボード】 [Shift]+[Ctrl]+[E]キー

保存できる形式……→表1. GIMPで読み書きできるファイル形式 (P. 6) を参照

- ★**注意**★ [ファイル-**名前を付けて保存**] コマンドは、**GIMP形式(.xcf)**で保存される。
名前(ファイル名)の後に、**拡張子(例:.jpg)**を必ず付ける。
拡張子を付け忘れると、**GIMP形式(.xcf)**で保存される。

(5)元に戻す(Undo)

- ・画像を変更する操作のほとんどは、元に戻せる。
- ・元に戻せないこと……保存、コピー、ズーム操作等

【メニュー】 [編集-…を元に戻す] コマンド

【キーボード】 [Ctrl]+[Z]キー

(6)元に戻すの取り直し(Redo)

- ・元に戻し過ぎたとき用

【メニュー】 [編集-やり直し] コマンド

【キーボード】 [Ctrl]+[Y]キー

【資料】

表1. GIMPで読み書きできるファイル形式

拡張子	形式またはソフト名
.xcf .xcf.gz または .xcf.bz2	GIMP形式 同(圧縮)
.fli	Autodesk flic動画形式
.dcm または .dicom	DICOM形式
.ps .ps.gz または .eps	PostScript文書形式 同(圧縮)
.fits または .fit	FITS天文画像形式
.svg	Scalable Vector Graphics、パスのエクスポート用
.ico	Microsoft Windows のアイコン
.avi	Microsoft の無圧縮AVIビデオ
.bmp	Windows bitmap形式
.psp または .tub	Corel Paint Shop Pro
.psd または .pdd	Adobe Photoshop
.pnm .ppm .pgm および .pbm	PNM画像
.gif	Comuserve Graphics Interchange Format画像と動画
jpeg .jpg または .jpe	Joint Photographic Experts Group画像形式
.png	Portable Network Graphics形式
.cel	KISSのセル
.tiff または .tif	Tagged Image File Format
.tga	TARGA
.xbm .icon または .bitmap	X bitmap画像
.xpm	X pixmap画像
.xwd	X Windowダンプ
.pcx	Zsoft PCX
.pdf	Adobe PDFファイル ※開けるが保存できない
多数の拡張子	RAW画像 ※開けるが保存できない

**※太字の拡張子は、デジカメやグラフィックスで一般的なもの。
 名前を付けて保存する時は、必ず拡張子(例:.jpg)を付ける。**

(7)GIMPの範囲選択について

①GIMPの範囲選択ツール(アイコンボタン)について

○一般的な範囲選択ツール

矩形選択 

楕円選択 

自由選択(投げ縄) 

○特別な範囲選択ツール→「3. その他/(10) 形を切り取る」(P.xx)を参照

ファジー選択(魔法の杖/自動選択) 

電脳はさみ 

前景抽出選択 

②選択範囲内だけ変化する

範囲設定後の操作は、その中だけが操作対象になる。

【例】範囲設定内を明るくする



③取っ手(ハンドル)について

【注意】矩形選択と楕円選択だけの機能。

作成した範囲は取っ手(ハンドル)によって、大きさを変えたり、移動することができる。

【取っ手(ハンドル)を消す方法】

- ・ 選択範囲内をクリックする。
- ・ [Enter]キーを押す。



④選択範囲の中心について

選択範囲(点滅破線)の中心には、その中心を示す+マークがあるので、中央に配置したいときに使う。



⑤中央から広げる－矩形選択と楕円選択

【ツールオプションによる方法】

ツールオプションの「中央から広げる」をオン(有効)にすると、ドラッグの始点を中心に選択範囲が広がる。



【[Ctrl]キーによる方法】

ドラッグしている途中で、[Ctrl]キーを押すと、(押している間は)中央から広げるになる。



⑥選択範囲の取り消し(JTrimと同じ)

⑦マウスで自由に範囲を指定する(JTrimと同じ)

⑧範囲のサイズを指定する(JTrimと同じ)

矩形選択ツールを使って、

1. ツールオプションの「値を固定」欄をオン(有効)にして、
2. サイズを選択する。
3. サイズ入力欄に、キーボードで**横×縦**の値を入力する。
値の入力は「横*縦」「横x縦」どちらも可。



イメージ・ウィンドウでマウスをクリックすると、指定したサイズの選択範囲枠が出るので、そのまま範囲指定したい画像の上にもっていく。



⑨ 正方形の範囲を選択する

矩形選択ツールを使って、

1. ツールオプションの「値を固定」欄をオン(有効)にして、
2. 縦横比を選択する。
3. サイズ入力欄は空白のままでもよい。(「1:1」と入力した方がよい)

イメージ・ウィンドウでマウスをクリックすると、正方形の選択範囲枠が出るので、そのまま範囲指定したい画像の上にもっていく。



⑩ 正円形の範囲を選択する

楕円選択ツールを使って、

1. ツールオプションの「値を固定」欄をオン(有効)にして、
2. 縦横比を選択する。
3. サイズ入力欄は空白のままでもよい。

イメージ・ウィンドウでマウスをクリックすると、正円形の選択範囲枠が出るので、そのまま範囲指定したい画像の上にもっていく。

⑪ 選択範囲とその内容の移動

- ・ [Ctrl]+[Alt]キーを押したまま選択範囲をドラッグすると、

→元の位置の画像は空白になる。

- ・ [Shift]+[Alt]キーを押したまま選択範囲をドラッグすると、

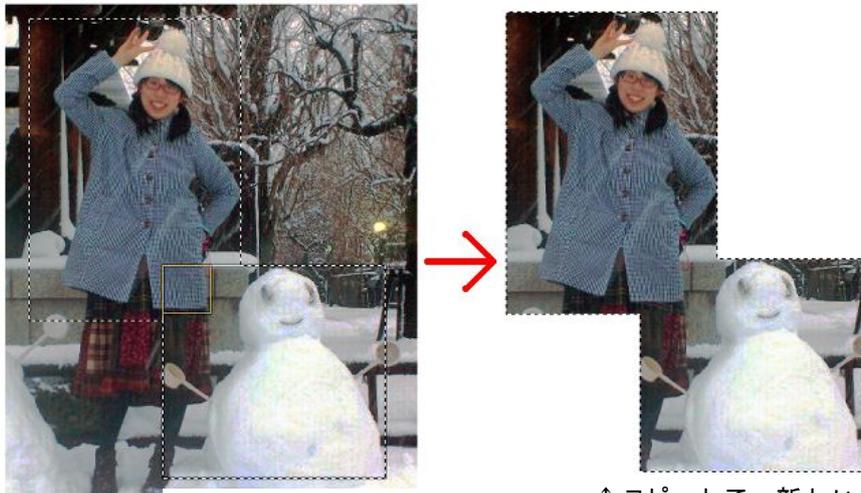
→元の位置の画像はそのまま、選択範囲とその内容(コピー)が移動する。



⑫ 選択範囲を加減する

【選択範囲の合成】

[Shift]キーを押しながら、既存の選択範囲にかぶるように新たな範囲を作成すると、合成した選択範囲になる。



↑ かぶるように新しい範囲を選択し、二つの範囲を合成する

↑ コピーして、新しい画像に貼り付けると…

【選択範囲の部分的な除去】

[Ctrl]キーを押しながら、既存の選択範囲にかぶるように新たな範囲を作成すると、重複した部分は選択範囲から除かれる。



↑ 除去したい部分をかぶせるように新しい範囲で指定する

↑ コピーして、新しい画像に貼り付けると…。重複した部分が除去できる

2. JTrim式4つの機能

(1)トリミング(切り取る)の方法

①基本技ー四角形に切り取るー

【A. マウスで自由に切り取る】

A-1. 先に  範囲指定ツールで範囲指定したら……

1. マウสดラッグで範囲指定した後に、
2. **【メニュー】**[画像-選択範囲で切り抜き]コマンドを実行する。



↑ マウสดラッグで範囲指定する

マウスの右ボタンメニューで[画像-選択範囲で切り抜き]を実行する→

トリミングのできあがり→

【ヒント】

「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。

A-2. 切り取りツールによる方法

1. ツールボックスから、切り取りツール  を選択(クリック)する。
2. 切り取りツール  でトリミングしたい部分を範囲指定する。
→範囲指定したトリミングしたい部分以外は、黒くマスクされる。
3. 選択範囲をクリックする。



↑ 切り取りツールでトリミングしたい部分を範囲指定する。(それ以外のところはマスクされる)



↑ できあがり

【B. 切り取るサイズを指定する】(JTrimとほぼ同じ) (切り取りツールのみ)

→「⑧範囲のサイズを指定する」(P.8)を参照

【C. 円形に切り取る】

(楕円選択ツールのみ)

1. (ツールボックスの)  楕円選択ツールを選択する。
- 2a. (大きさを指定するとき)はツールオプション/大きさ欄の縦横のサイズを入力する。
- 2b. (正円形にトリミングしたいときは)ツールオプションで [値を固定] がオン(有効)、「縦横比」にする。
→「⑩正円形の範囲を選択する」(P. 9)を参照
3. マウสดラッグで範囲指定する。
→オプションで指定した範囲枠ができる。
4. 範囲枠の位置を決める。
5. **【メニュー】[編集-コピー]** コマンドを実行する。
6. 新しいキャンバスに、貼り付ける。

※[画像-選択範囲で切り抜き]コマンドは使えない?

【ヒント】

「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。

②高等技

【A. 複雑な形を切り取る】

→「3. その他/(10) 形を切り取る」(P.●)を参照

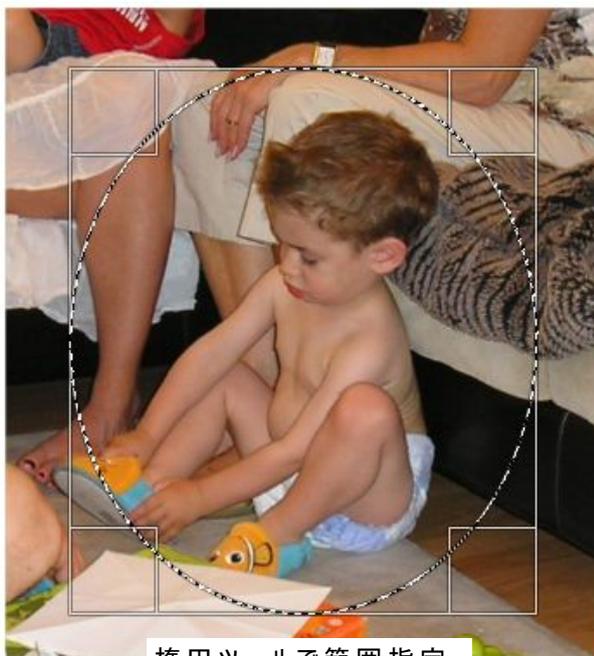
【B. 縁(ふち)をぼかす】

矩形選択、楕円選択、その他特殊選択(P.●)ツール共通です。

1. ツール(ボタン)を選択する。
2. ツールオプションの「境界をぼかす」をオン(有効)にして、
3. ぼかす幅を設定する。→50.0px以上を推薦
※ボカシは範囲枠の内外にできる。
4. マウスドラッグで範囲指定する。
→オプションで指定した範囲枠ができる。
5. 範囲枠の位置を決める。



以下、切り取りやコピーコマンドを実行し、新しい画像に貼り付ける。



楕円ツールで範囲指定して、コピーする



新しい画像に貼り付けた

【ヒント】

「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。

(2)回転させる(傾きの修正)+グリッド表示

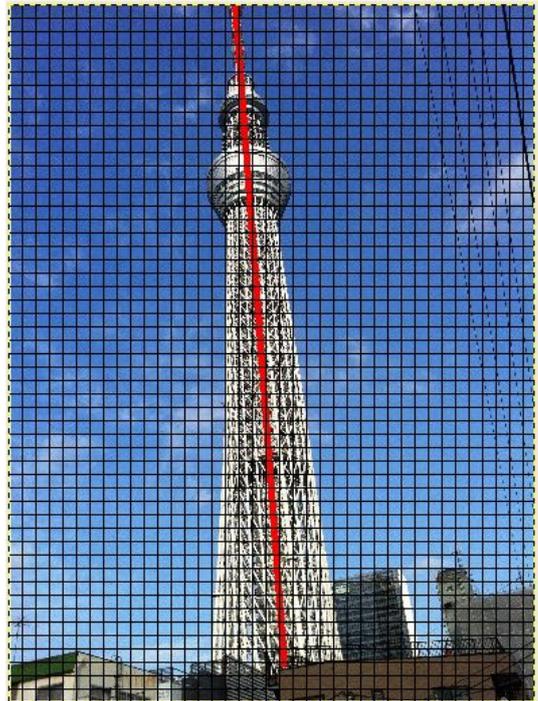
①グリッドを表示させる

グリッドは、イメージウィンドウ上に描かれた格子線で、グリッドを見ながら、写真等の傾きを修正します。

【メニュー】[表示-グリッドの表示]コマンド

【ヒント】

- ・グリッド(格子線)の間隔や線種、色の変更は、
【メニュー】[画像-グリッドの設定]コマンドで行う。
- ・常にグリッドを表示したい時は、
【メニュー】[編集-設定-画像ウィンドウの表示スタイル]で「ノーマルモード時の…」 「フルスクリーンモード時の…」にあるグリッドをオン(有効)にする。



グリッドと比較すると、写真が曲がっている(傾いている)のがよくわかる

【ヒント】

「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。

②回転させる

【注意】範囲指定していると、選択範囲内の画像が回転します。

【A. マウスで回転させる】

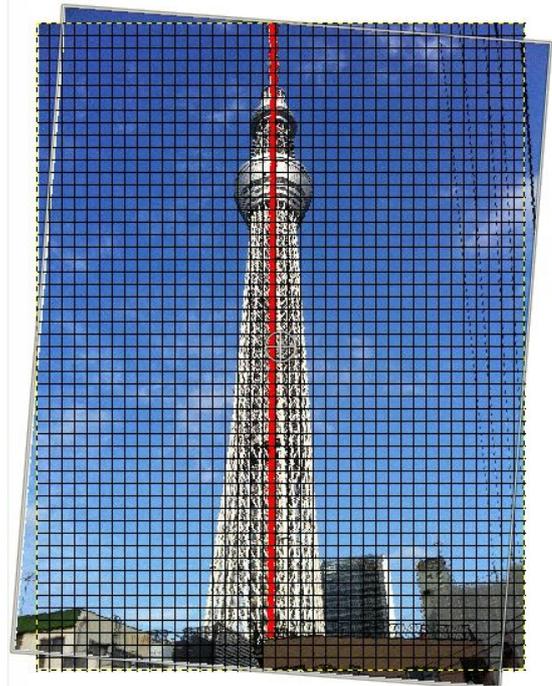
1. 次の方法で回転ツールを呼び出す。

【ツールボタン】 

【メニュー】[ツール-変形ツール-回転]コマンド

【キーボード】[Shift]+[R]キー

2. 回転ツールのオプションを次のようにする。
 - ・プレビュー表示……オン(有効)にする。
 - ・ガイド……表示しない
3. グリッドを見ながら、マウスで回転したい方向にドラッグする。
4. マウスボタンを放したところで、回転は終わる。



【B. 角度指定して回転させる】—回転ダイアログボックスで角度の指定を行う—

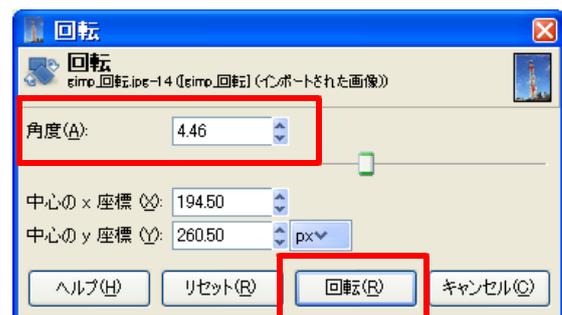
1. 回転ツールアイコンを呼び出す。

【ツールボタン】 

【メニュー】[ツール-変形ツール-回転]コマンド

【キーボード】[Shift]+[R]キー

2. 画像や選択範囲をクリックする。
→回転ダイアログボックスが表示される。
※ツールボックス下のオプション項目は無視してよい。
3. 角度を -180度～180度までの値(0.01度単位)を入力する。
※中心座標は無視してよい。
4. [回転]ボタンをクリックする。



【ヒント】

「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。

(3)ガンマ補正

※GIMPのガンマ補正機能は、レベル補正機能の中にある。

【注意】範囲指定していると、選択範囲内の画像がガンマ補正される。

1. 次の方法で、レベルのダイアログボックスを呼び出す。

【メニュー】[色-レベル...]コマンド

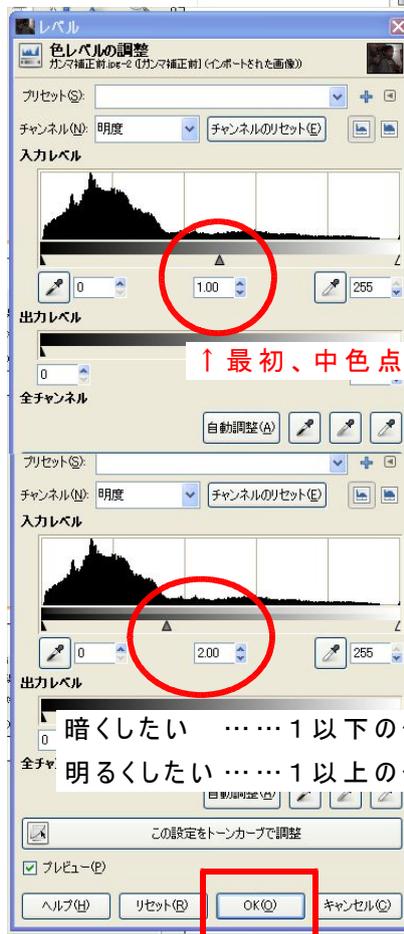
または

[ツール-色ツール-レベル...]コマンドを実行する。

→レベルダイアログボックスが表示される。



2. 入力レベルの「中色点(中間的な色調。ガンマ)」欄に値を入れる。



3. [OK]ボタンをクリックする。

【注意】

- ・中色点欄上の▲(スライダー)を左右にマウสดラッグしてもガンマ補正できるが、微妙な調整が難しいので、「マウสดラッグで大きく変えて、値入力で微調整する」を勧める。
- ・入力レベル左右の△▲や値(0と255)は触らない。

【ヒント】

「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。

【おまけ】

範囲指定してガンマ補正すると、図のように範囲内の画像だけが変化する。



【ヒント】

「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。

(4)シャープ化の方法

【注意】範囲指定していると、選択範囲内の画像がガンマ補正される。

本書は、GIMPのシャープ化機能は複雑なので、簡易にしたスクリプト「eg-highpasssharpen.scm」を使います。

GIMP2.8用のeg-highpasssharpen.scmもあるが、まだ日本語化されていないので2.6用を使う。

eg-highpasssharpen.scmのダウンロード&インストール方法

(GIMPを終了してから行う)

1. <http://www.geocities.jp/gimproject/scripts/enhance.html> の
2. 「eg-highpasssharpen.scm」にあるGIMP2.6用をダウンロードする。
3. ZIPファイルを解凍し、eg-highpasssharpen.scmを次のところにコピーする。

32ビットOSの人は

C:\¥Documents and Settings¥ユーザー名¥gimp-2.8¥scripts フォルダ

64ビットOSの人は

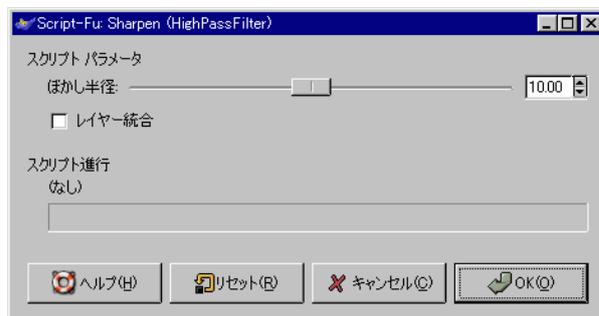
C:\¥Users¥ユーザー名¥gimp-2.6¥scripts フォルダ

インストール(コピー)して、GIMPを起動すると、メニューにScript-Fuが追加され、その下に「強調→Sharpen(HighPassFilter)」ができる。

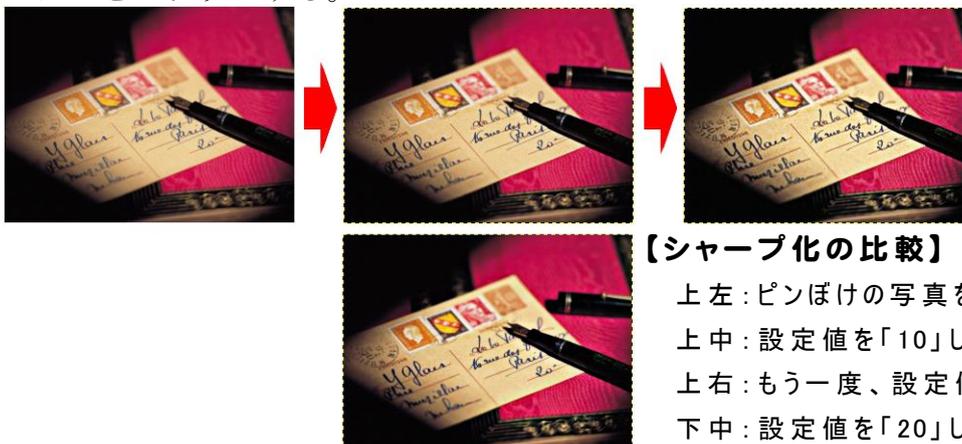
1. 次の方法で、[Sharpen(HighPassFilter)]ダイアログボックスを表示させる。

【メニュー】[Script-Fu-強調-Sharpen(HighPassFilter)]コマンド

2. ぼかし半径を設定する。
10.00のままでも良い。



3. [OK]ボタンをクリックする。



【ヒント】

「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。

3. その他

(1)リサイズ(縮小する)

【注意】

GIMPのリサイズには、「キャンバスを含めた画像全部のリサイズ」と「(キャンバスを含めない)画像のみのリサイズ」の2タイプがある。JTrim的なリサイズは前者「キャンバスを含めた画像全部のリサイズ」である。

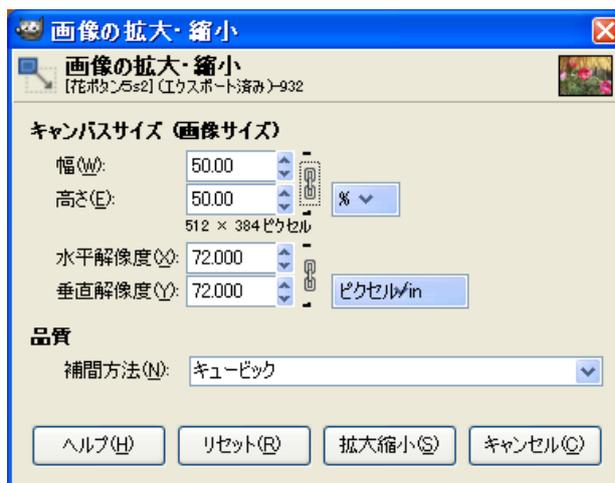
↓普通はこっち↓

【キャンバスを含めた画像全部のリサイズ】

1. 次の方法で、画像の拡大・縮小ダイアログボックスを表示させる。

【メニュー】 [画像-画像の拡大・縮小]コマンド

2. 単位ダイアログで%やpxなどを選択する。
3. 幅と高さのサイズを入力する。
4. [拡大縮小]ボタンをクリックする。



【(キャンバスを含めない)画像のみのリサイズ】

※この方法でリサイズすると、キャンバスの大きさは元のままなので注意する。

1. 次の方法で、拡大・縮小ダイアログボックスを表示させる。

【ツールボタン】

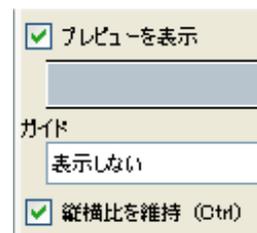
【メニュー】 [ツール-変形ツール-拡大・縮小]コマンド

【キーボード】 [Shift]+[T]キー

2. 拡大・縮小ツールのオプションを次のようにする。

- ・プレビュー表示 ……オン(有効)にする。
- ・ガイド ……表示しない
- ・縦横比を維持 ……オン(有効)にする。

【注意】 「縦横比を維持」がオフ(無効)でも、マウス操作中に[Ctrl]キーを押している時は、「縦横比を維持」オプションが働く。

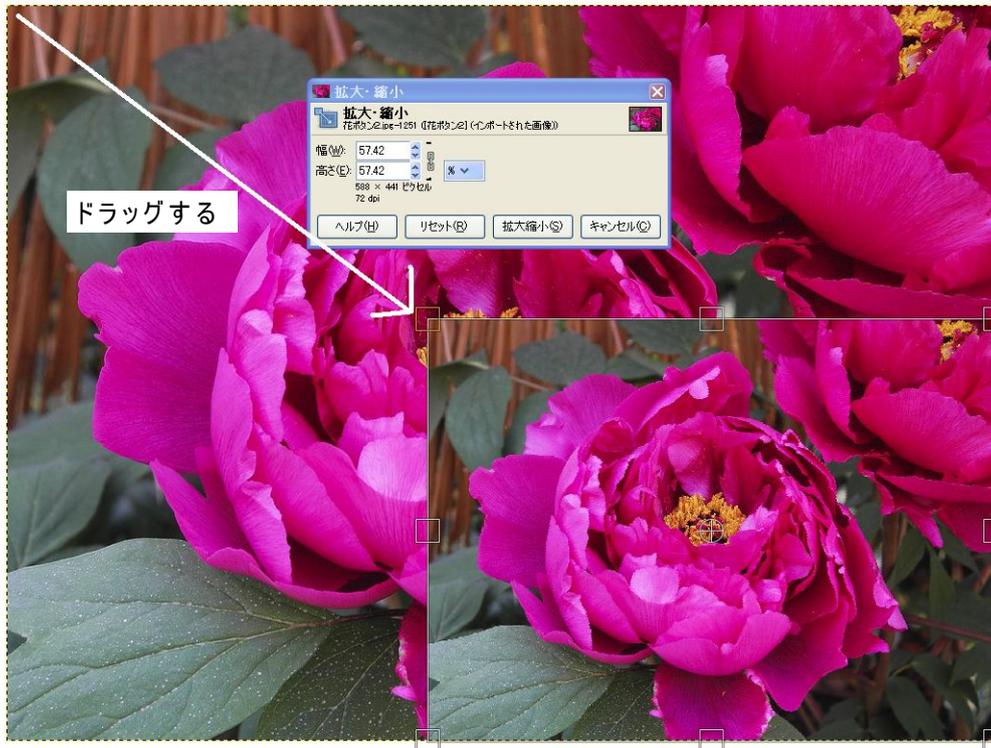


【ヒント】

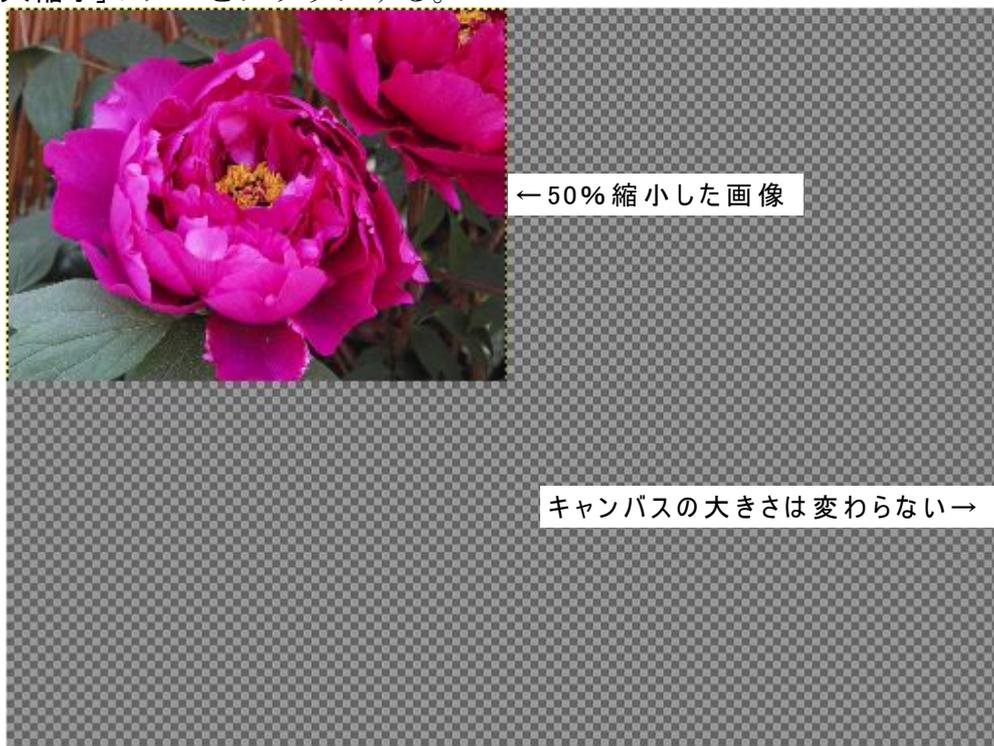
「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。

【マウス操作の場合】

3. マウスでドラッグすると、画像がリサイズするが……。



4. [拡大縮小]ボタンをクリックする。



※拡大・縮小ツールでリサイズすると、キャンバスの大きさは元のままで、保存すると余白になる。

【ヒント】

「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。

【縮小サイズを指定する方法】

3. 単位ダイアログで%やpxなどを選択する。
4. 幅と高さのサイズを入力する。
5. [拡大縮小]ボタンをクリックする。



※この方法(ダイアログボックスでのサイズ指定)でも、キャンバスの大きさは元のままで、保存すると余白になる。

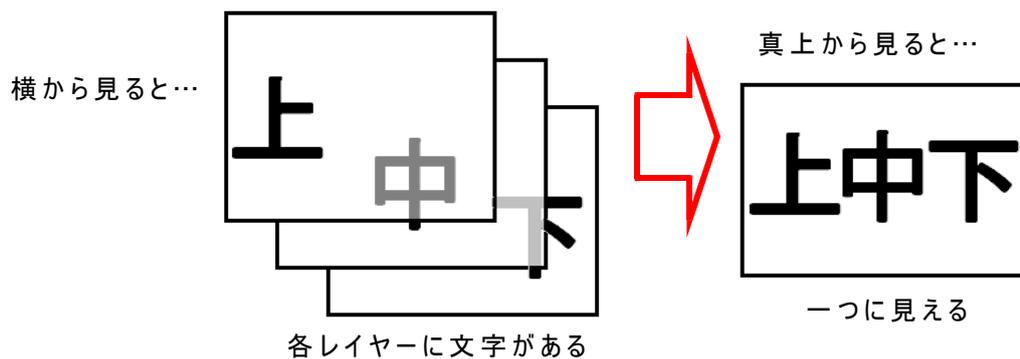
【ヒント】

「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。

【GIMP必修の知識】 レイヤについて

○レイヤーとは

- ・ **透明なシート**です。(不透明や半透明にすることも出来ます)
- ・ レイヤー1枚ずつに写真やイラスト、文字等を配置して
- ・ 何枚も重ねたり、上下の順番を入れ替えたりして
- ・ 1枚の画像を表現する仕掛けです。
- ・ レイヤーの操作は、**レイヤーダイアログ**か、**[レイヤー]**コマンドで行う。



- ※Wordの図枠やテキストボックスもレイヤー機能です。
- ※レイヤー機能を使うと、図版の修正が簡単になります。

○レイヤーダイアログをツールオプションの隣に追加する方法

1. 「ツールオプションが消えたら?!」と同じ手順で、
2. [ウィンドウドッキング可能なダイアログ]コマンドで「レイヤー」を選択して、
3. [レイヤー]タブを[ツールオプション]タブの隣までドラッグする。



○この状態(レイヤー構造のまま)で保存する

- ・ GIMP形式で保存する。
- ・ [ファイル名前を付けて保存]コマンドを行う。

→GIMP形式で保存したファイルを開くと、レイヤー構造も再現される。

【ヒント】

「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。

○レイヤーの操作方法

【注意】 レイヤーのコマンド操作は、【メニュー】の[レイヤー]と、[レイヤー]ダイアログ上の右ボタンメニューで行う。以下は、[レイヤー]ダイアログ上の右ボタンメニューでの操作方法です。

[レイヤを追加する]…レイヤーを使うと、修正が楽になる。

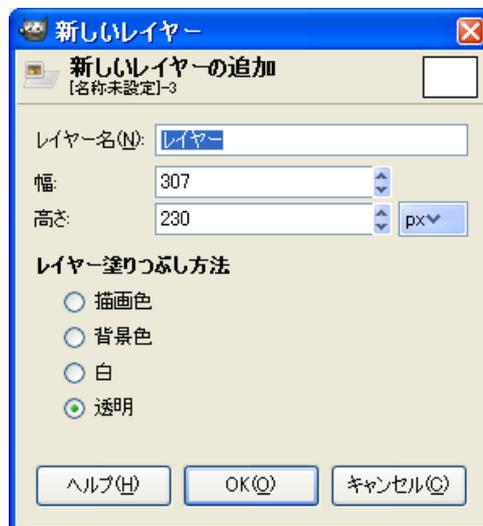
1. 「新しいレイヤーの追加」を実行する。

→[新しいレイヤー]ダイアログボックスが表示される。

- ・レイヤー名を適当に付ける。
- ・サイズ(幅・高さ)は、既に開いている画像のサイズになっている。
- ・レイヤーの塗りつぶし方法は、透明のまま。

2. [OK]ボタンをクリックする。

以上で、現在、アクティブなレイヤーの上に新しいレイヤーが追加されます。



[レイヤーを削除する]

([レイヤー]ダイアログの)

1. 削除したいレイヤーを選択(クリック)して
2. 「レイヤーの削除」を実行する。

[レイヤーの名前を変更する]…名前を付けると、レイヤー管理が楽になる。

1. 名前変更したいレイヤーを選択して

2. 「レイヤー名の変更」を実行する。

→[レイヤー名の変更]ダイアログボックスが表示される。

3. 新しいレイヤー名を付ける。

4. [OK]ボタンをクリックする。



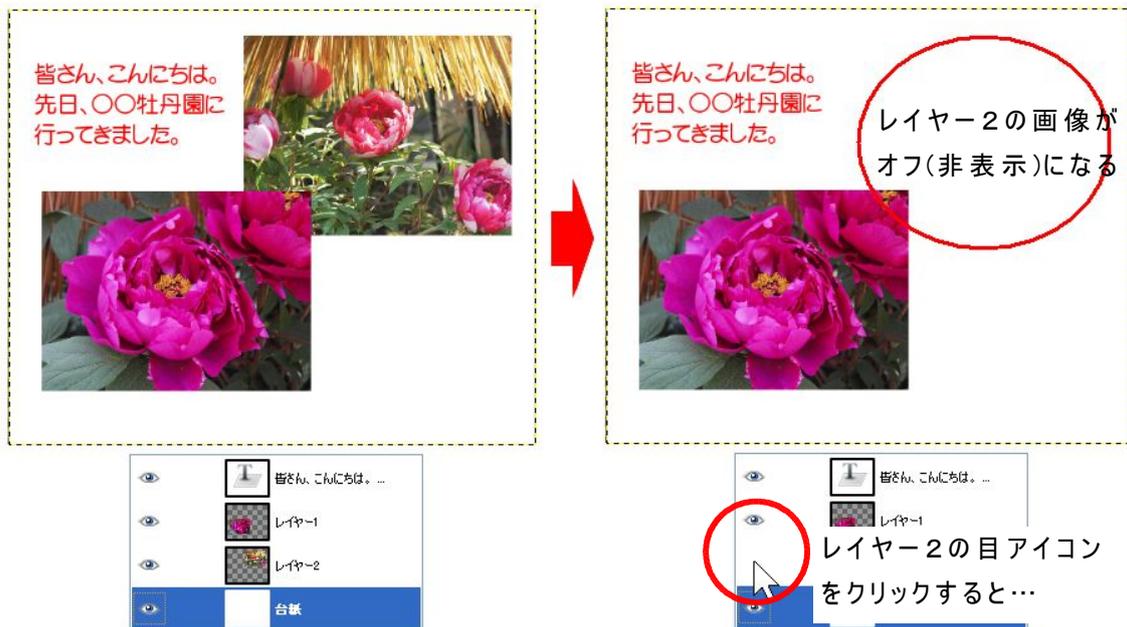
【ヒント】

「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。

マウスの右ボタンメニューも試そう。

[レイヤーのオン・オフ(表示・非表示)]…組写真の修正などで、上のレイヤー画像が邪魔な時に使う。

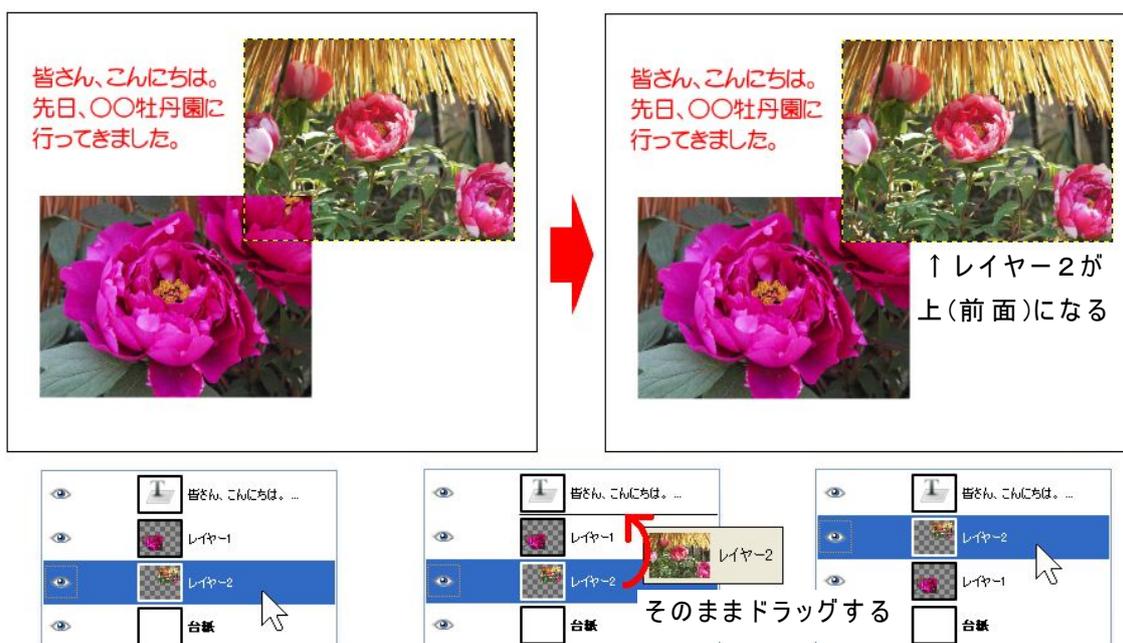
レイヤーダイアログの左端にある目のアイコンをクリックすると、レイヤーのオン・オフ(表示・非表示)ができる。



【注意】 オフ(非表示)にしたレイヤーの画像は、印刷できない。

[レイヤーの順番(上下位置)を変える]

1. 順番を変えたいレイヤーを選択し、
2. そのまま移動させたいところまでドラッグする。



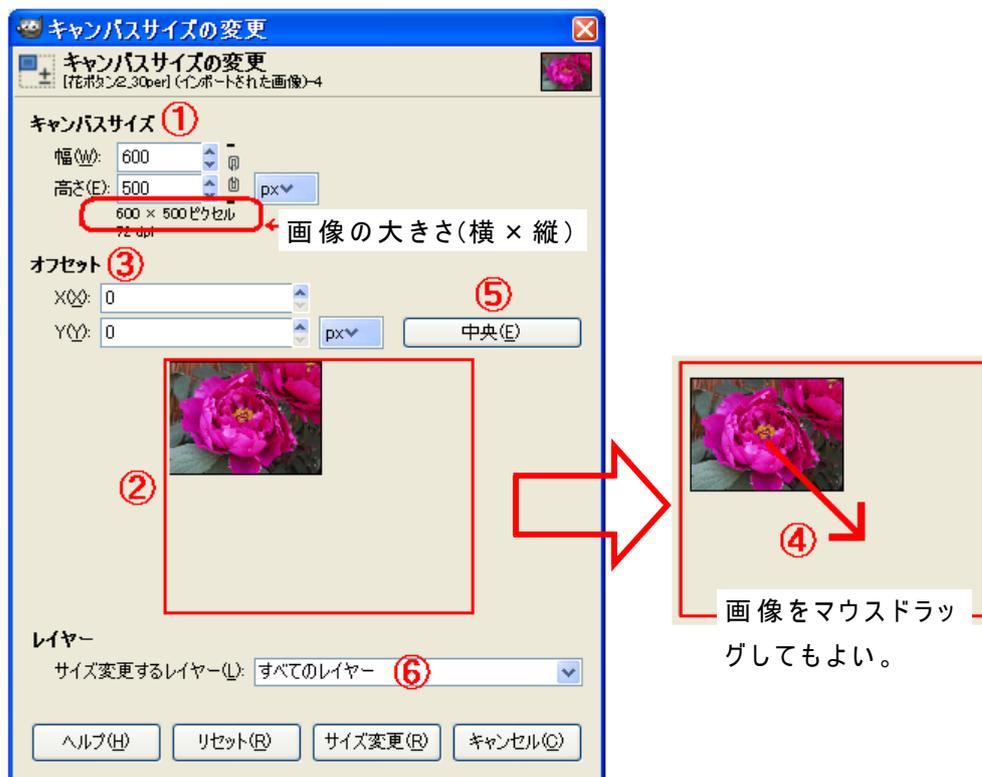
【ヒント】

「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。

(2)余白を大きくする

1. 次の方法で、キャンバスサイズの変更ダイアログボックスを表示させる。

【メニュー】 [画像-キャンバスサイズの変更...]コマンド



2. 画像の大きさを参考にキャンバスサイズ(①)を入力する。
→それに伴い、プレビュー画面(②。赤枠部分が新しいキャンバスサイズ)が変化する。

3. オフセット値(③。左上からの間隔)を入力する。
→それに伴い、プレビュー画面の画像位置も変化する。

または、プレビュー画面にある画像をマウスドラッグ(④)してもよい。

[中央]ボタン(⑤)をクリックすると、画像はキャンバスの中央に行く。

4. レイヤーは「すべてのレイヤー」を選択する。
5. [サイズ変更]ボタンをクリックする。



【注意】 画像より小さいキャンバスサイズを設定すると、画像のトリミングができる。

【ヒント】

「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。

(3)組写真の方法

(これまでのJTrim的な方法をGIMPで行う……)

- 作業1. 写真1と写真2を開く (事前に縮小しておく)
 - 作業2. 写真1の余白(キャンバス)を大きくする
 - 作業3. 写真1を移動させる(省略可)
 - 作業4. 写真2をコピーして、**写真1の余白に貼り付ける**
 - 作業5. エクスポートして、保存する
- 簡単だけれど、あとで修正することが出来ない。**

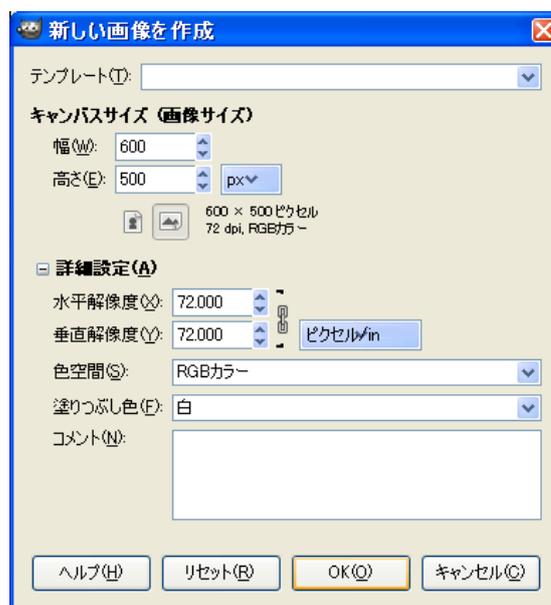
(レイヤーを使った新しい方法 –GIMP的高度な方法–)

事前準備

- ・写真1と写真2を縮小する。
- ・台紙となる新しい画像作成のため、写真1と写真2のサイズをメモしておく。

具体的な作業手順 ([〇〇]コマンドは、すべてレイヤーダイアロ上の右ボタンメニューです)

1. 写真1と写真2を開く。
2. [ファイル-新しい画像]コマンドで、台紙となる新しい画像を作成する。
→[新しい画像を作成]ダイアログボックスが開く。
 - ・写真1と2のサイズを元に、キャンバスサイズ(画面サイズ)を設定する。
 - ・詳細設定の[塗りつぶし色]は「白」を選択する。
3. [OK]ボタンをクリックする。
→台紙となる新しい画像が作成される。
4. [レイヤー名の変更]コマンドを使って、台紙となる新しい画像のレイヤー名「背景」を「台紙」に変える。
(省略可)
5. 写真1を[選択-すべて選択]([Ctrl]+[A]キー)してコピーする。



[ヒント]

「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。

6. 新しい画像(台紙)の上で、写真1を貼り付ける。
→写真1が新しい画像(台紙)の上に貼り付くと同時に、台紙レイヤーの上に「フローティング選択範囲(貼り付けられたレイヤー)」ができる。



7. 「フローティング選択範囲」を選択して、[新しいレイヤーの生成]コマンドを実行する。
→レイヤー名が「貼り付けられたレイヤー」に変わる。



8. [レイヤー名の変更]コマンドを使って、「貼り付けられたレイヤー」を「レイヤー-1」に変える。(省略可)



9. 5～8を用いて、写真2を新しい画像(台紙)に貼付けて、レイヤー名を「レイヤー-2」にする。
→図のように、3層のレイヤー構造になる。

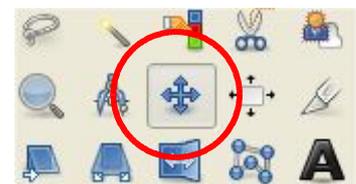


(写真1の位置を調整する)

10. レイヤー-2を選択し、目アイコンをクリックして、レイヤー-2をオフ(非表示)にする。
→写真2が消えて、キャンバスには写真1が現れる。

11. レイヤー-1を選択し、写真1を[選択-すべて選択]([Ctrl]+[A]キー)する。
→写真1がアクティブになる。

12. ツールボックスにある移動ツールをクリックする。



13. マウスで写真1をクリックして、そのままドラッグする。
→写真1がレイヤー内を自由に移動する。



【ヒント】

「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。

(写真2の位置を調整する)

14. レイア-2 を選択し、目アイコンをクリックして、レイヤー2をオン(表示)にする。
→写真2が写真1の上に現れる。

※邪魔ならば、写真1を10の方法で、オフ(非表示)にしてもよい。

15. 11~13の方法で、写真2の位置を決める。

※必要ならば、写真1の位置を変えてもよい。



以上で、組写真はできる。

組写真の保存について

1. 【レイヤー構造を残して保存する】

- ・ GIMP形式で保存する。
- ・ [ファイル名前を付けて保存] コマンド。
→GIMP形式で保存したファイルを開くと、レイヤー構造も再現される。

2. 【レイヤー構造を残さないで保存する】

- ・ JPEG形式等で保存する。
- ・ [ファイルエクスポート] コマンド。
→JPEG形式等で保存したファイルを開いても、レイヤー構造は再現されない。

(4)合成貼り付けの方法

※(3)組写真と同じ方法で行います。

【ヒント】

「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。

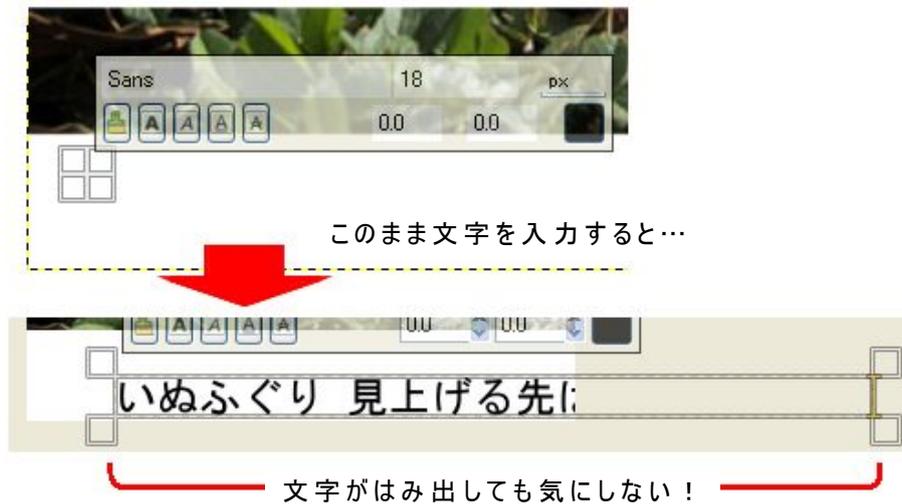
(5)写真に文字を入れる

【注意】 GIMPのテキストツールは横書き専用です。

[よく使うツール]  …テキストツール、
 …移動ツール



1. テキストツールをクリックして、余白部分をクリックする。
→テキストダイアログボックスとテキスト範囲枠が表示される。
2. そのまま、文字を入力する。
(フォントの種類やサイズ、色は、あとで変更する)



※このまま文字を入力すると、余白サイズから出るが、あとで文字サイズ等を調整するので、気にしない！

(文字サイズ等の調整について)

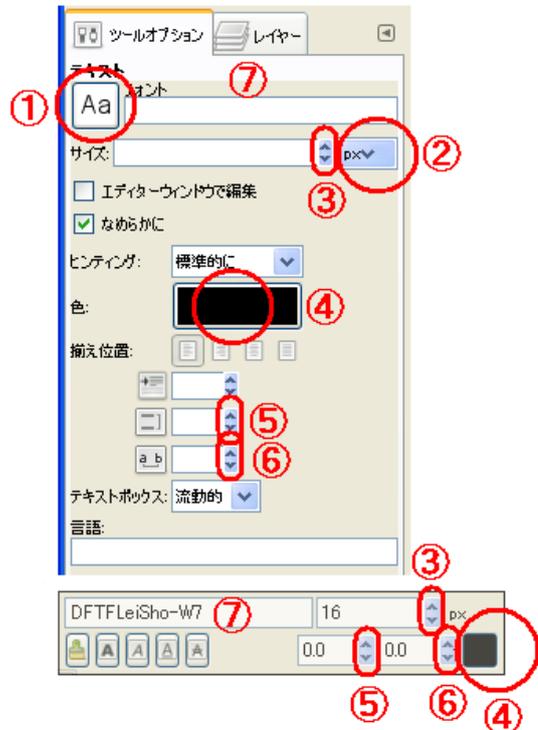
【注意】 文字(テキスト)の調整は、文字(テキスト)をすべて選択([Ctrl]+[A]キー)してから行う。

テキストツールオプション(上)
テキストダイアログボックス(下) について

- ①フォント選択ボタン(オプションのみ)…クリックすると、フォント選択ができる。
ただし、フォント名は英字名なので、サンプル表示と見比べて選択すること。



選択したフォント名は⑦に表示される。



- ②フォントサイズ単位ボタン…クリックすると、フォントサイズの単位指定ができる。ポイントは「pt」。
- ③フォントサイズボタン

- ④フォント色…クリックすると、[選択したテキストの色]ダイアログボックスが表示される。

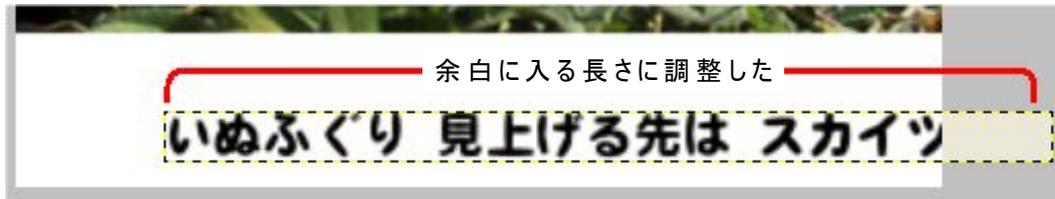
- 右端タブ(○印)のカラーパレットが使いやすい。
- 色が決まったら、[OK]ボタンをクリックする。



- ⑤行間指定ボタン
⑥字間指定ボタン
⑦フォント名ボックス

「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。
ツールボックスの背景色は白色に設定する。

3. テキストツールオプションや[テキスト]ダイアログボックスを使って、入力した文字を画像に合うように調整する。



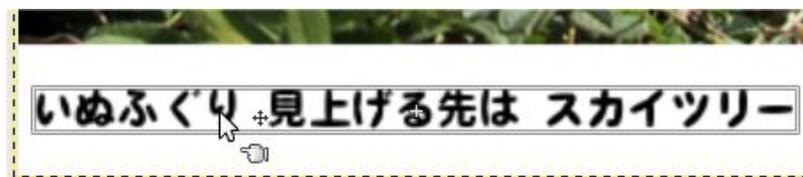
(文字の移動)

4. (ツールボックスの)移動ツールをクリックする。
(文字の上で)マウスマウスカーソルは次のように変わる。

左…文字の移動ができる

右…文字より下のレイヤーを動かす

マウスマウスカーソルが図のようになったら、ドラッグして文字を移動する。



いぬふぐり 見上げる先は スカイツリー

できあがり…

「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。
ツールボックスの背景色は白色に設定する。

作例 2



↑文字を入力後、フォントやサイズ、色を設定する



↑とりあえず、こんな感じになる



←移動させて、
改行や字間、
行間を調整する



完成



「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。
ツールボックスの背景色は白色に設定する。

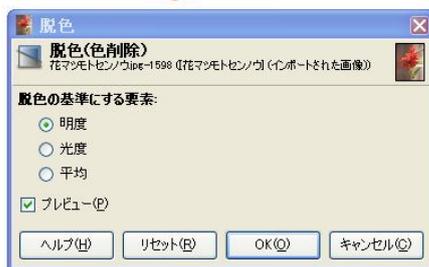
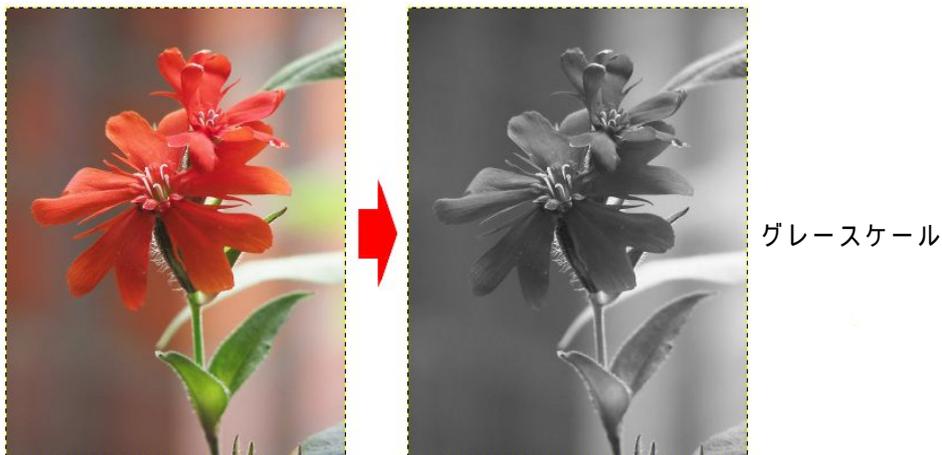
(6)グレースケール化

①グレースケール

【メニュー】 [画像-モード-グレースケール]コマンド

②厳密なグレースケールではないが、灰色濃淡画像化する。

【メニュー】 [ツール-色ツール-脱色...]コマンド



脱色(明度)

脱色(光度)

脱色(平均)



淡い

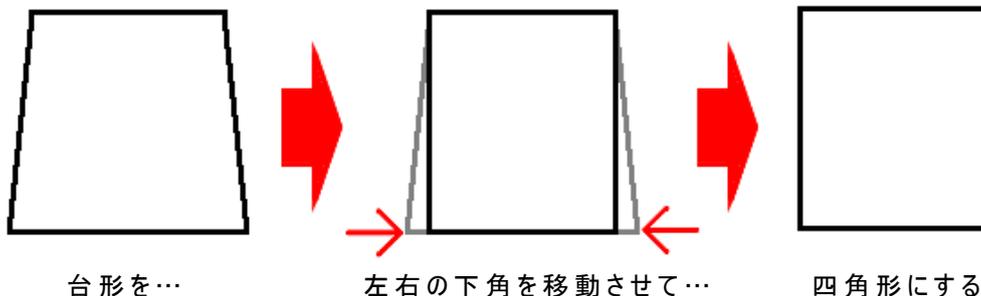
濃い

少し濃い

「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。
ツールボックスの背景色は白色に設定する。

(7)[NEW]遠近法

遠近法は、写真(画像)の四隅の座標を移動させて、写真(画像)の歪みを修正する機能です。



修正前



修正 + トリミング後

修正する写真を開いたら...

1. ツールボックスの  遠近ボタンをクリックする。

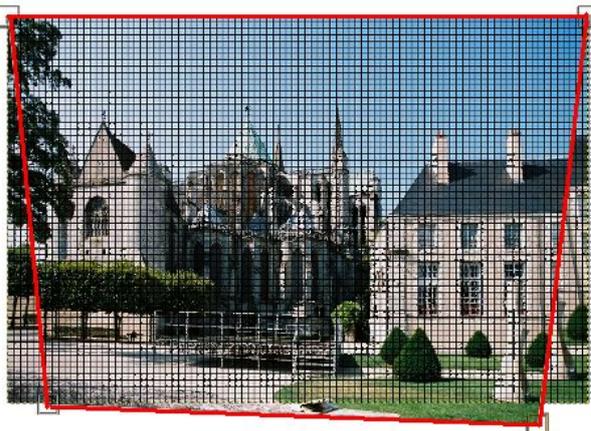
→[遠近法]ダイアログボックスが表示される。

2. ツールオプションの[ガイド]を「表示しない」にする。

3. グリッドを表示させる。

4. グリッドを基準に、マウスで写真の四隅をドラッグして写真の歪みを修正する。

(赤枠内は修正中のもの)



5. [遠近法]ダイアログボックスの[変形]ボタンをクリックする。

(あとはトリミングする)

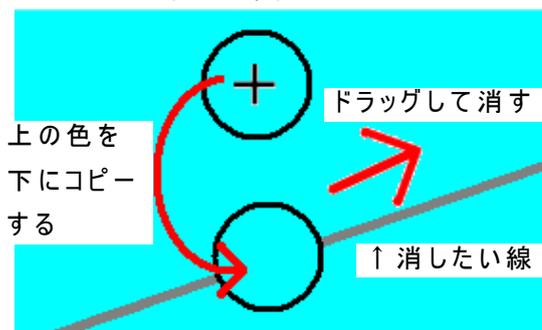


「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。
ツールボックスの背景色は白色に設定する。

(8)[NEW]写真の修正(修復ブラシ) – 邪魔な線を消す –

修復ブラシは、修正したい部分(線や面)を周囲の色(模様も含む)で塗りつぶす機能です。

イメージ図



【基本的な使い方】

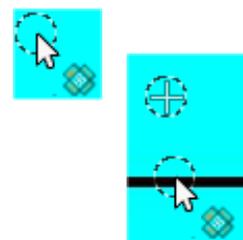
1. (修正したい画像を開いたら…)次の方法で修復ブラシを起動する。

- ・ ツールボックスの[修復ブラシ]ボタン  をクリックする。
 - ・ **【メニュー】** [ツール-描画ツール-修復ブラシ]コマンド
- 最初は、図のようなマウスカーソルになる。



2. コピーしたい色の部分で、[Ctrl]キーを押しながら、マウスをクリックする。

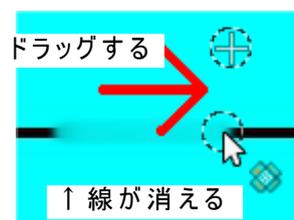
- クリックした場所に  マークが付く。
と同時に、マウスカーソルも図のように変化する。



3. 変化したマウスカーソルを修正したいところにもっていく。

4. そのまま、マウスをドラッグする。

- 修正したい部分がコピー元の色で塗りつぶされる



【修復ブラシ作業のコツ】

- ・ コピーしたい色の部分と修正したいところの間隔を小さくする。
- ・ ただし、重ねてはダメ。
- ・ ブラシのサイズは、20ピクセル(px)以下がよい。
- ・ 色の変わり目は、注意する。
- ・ コピーしたい色の部分の位置をこまめに変える。
- ・ 修正する画像を拡大(400%以上)表示をして行う。

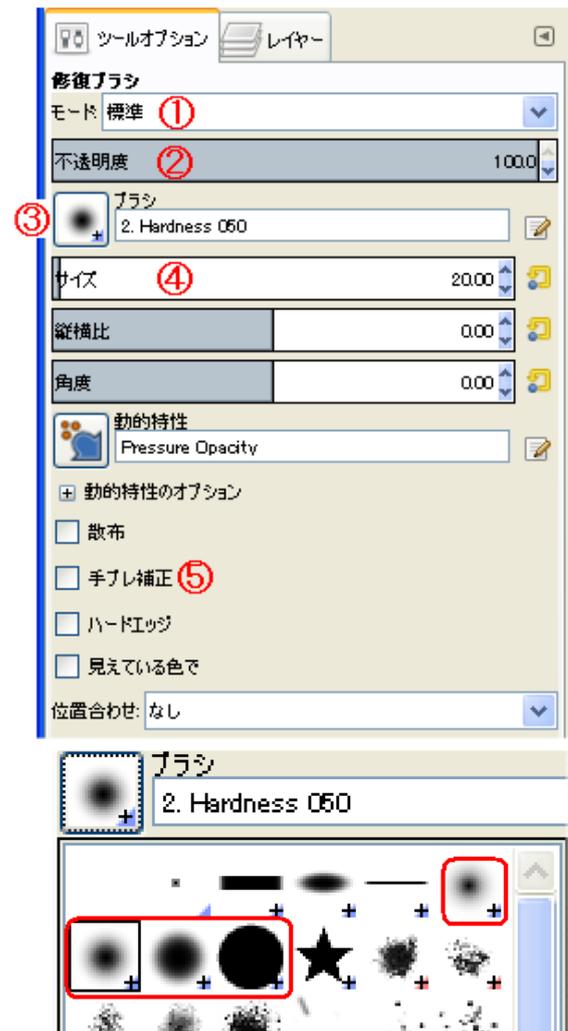


「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。
ツールボックスの背景色は白色に設定する。

【メモ】修復ブラシのオプションについて

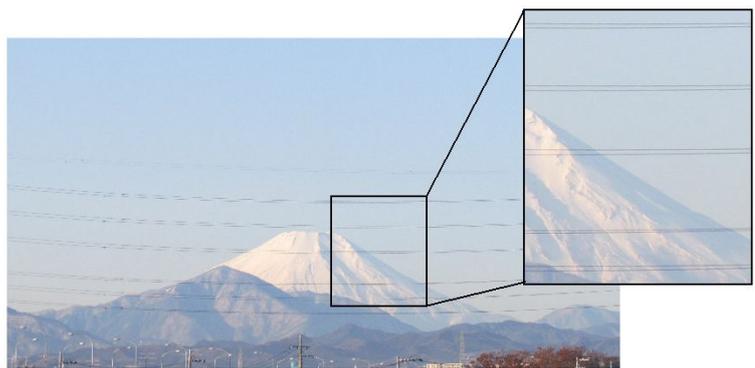
- ①モード…「標準」のままでよい。
- ②不透明度…「100%」のままでよい。
- ③[ブラシ]ボタン…下図の赤枠のものがお勧め。
- ④サイズ…20ピクセル(px)以下にする。
- ⑤手ブレ補正…必要に応じて利用する。

これ以外のもはデフォルト(初期設定値)のままでよい。



【作図例】――電線を消す――

修復前→
電線が邪魔をしている



修復後→
電線がなくなる！



「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。
ツールボックスの背景色は白色に設定する。

(9) 形を切り取る－合成貼り付けのために－

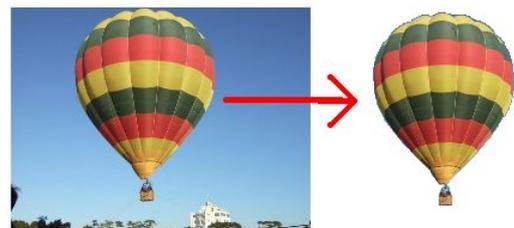


そのためには……気球やカモメをその形どおりに切り抜かなければならない。

【そのためには、どうするか?－考え方－】

方法1. 形どおりに切り抜く(選択する)

自由選択ツールを使って
気球を切り抜く→



方法2. 切り抜かずに、背景色を透明にする

ファジー選択ツールで青空を
取り除き、透明化する→



「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。
ツールボックスの背景色は白色に設定する。

【具体的なやり方】

方法1. 形どおりに切り抜く(選択する)――自由選択(なげなわ) ツールの使い方――

(事前準備)

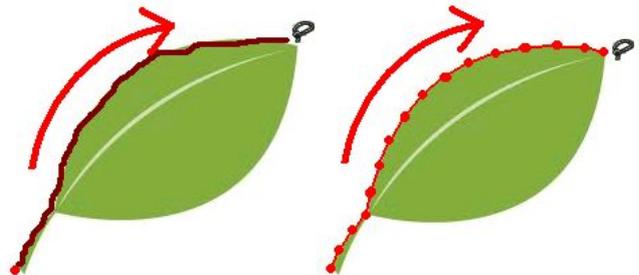
- ・切り抜く画像を200%以上に拡大しておく。

(手順)

1. 自由選択(なげなわ)  ツールを起動する。

2. 切り抜きたいものの輪郭に沿って、

- ・マウスをドラッグさせる(左図。*1)
- ・マウスクリックを続ける(右図。*2)



*1: マウスボタンを放すと現在のポインタの位置から開始点までを結ぶ直線が引かれ選択範囲の輪郭が閉じて、範囲選択できる。

*2: 多角形選択です。クリックすると、次々とアンカーポイントが置かれ、直線で繋がる。ダブルクリックすると、開始点までを結ぶ直線が引かれ選択範囲の輪郭が閉じて、範囲選択できる。

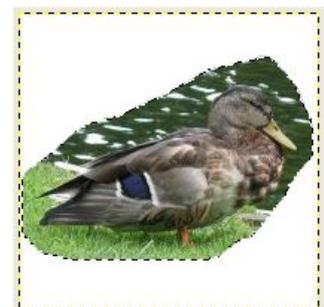
3. コピーまたは切り取る。

4. あとの作業は、貼り付けや組写真と同じです。

(作図例)



←富士山に気球を合成した。



【その他に】

- ・自由選択(なげなわ)ツールは、ざっくりと切り抜く時などに使うと便利。

Ⅱ. 切り抜かずに、背景色を透明にする

【背景別作業仕分け】

超簡単	背景色が白色の場合	→ケース1(P.40)へ
簡単	背景色が白色以外だが、単色ベタ塗りの場合	→ケース2(P.41)へ
	背景色が白色以外で、単色グラデーションの場合	→ケース3(P.42)へ
難しい	それ以外、他の被写体と重なっている場合	→ケース4(P.xx)へ

しきい値(閾値)とは

単色に見えても、PC的には色むらがある場合、しきい値を上げて「どのくらい似た色までを選択対象」にするかを決めるオプションのこと。

※しきい値は、おおよそ次のような感じです。

1～3：同じ色

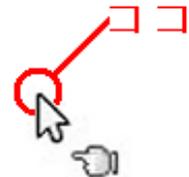
4～6：ほぼ同じ色

6～8：似た色まで

という感じで、数値が大きくなると「似て非なる色まで」を選択対象にします。

マウスポインタはどっち？

GIMPでは色域選択ツールのように、通常のマウスカーソルと指先がセットになったマウスポインタがいくつかあります。このような時は、通常のマウスカーソルの先端がマウスポインタです。

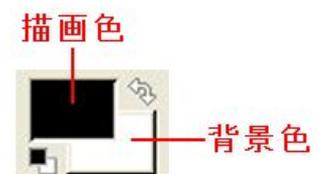


描画色と背景色 — 背景色を白色にする —

ツールボックスの背景色が白色でなかったら、白色に設定する。

(背景色を白色にする方法)

1. 背景色ボックスをダブルクリックする。
→色設定のダイアログボックスが表示される。
2. 白色を選択し、[OK]ボタンをクリックする。



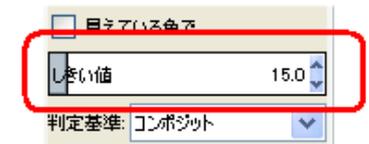
「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。
ツールボックスの背景色は白色に設定する。

ケース1. 背景色が白色のみの場合(例:イラストなど)

1. 透明化する図(レイヤー)を選択し、色域選択  ツールをクリックする。



2. ツールオプションの[しきい値]を「5」にする。



3. 透明化する白色部分をクリックして、白色部分を選択する。



4. [レイヤー-透明部分-アルファチャンネルの追加] コマンドを実行する。

5. [レイヤー-透明部分-色を透明度に] コマンドを実行する。

または[色-色を透明度に] コマンドを実行する。

→プレビューを見て、白色部分が市松模様になっていればOK。



6. [OK] ボタンをクリックする。



以上で、左図のように白色部分が透明になり、花の写真と合成することが出来ます。

【コツ】

色域選択ツールを使うと、イラスト内の白色部分も透明化するので、事前にイラスト(透明化したくない部分)を薄い色で着色しておく。

ケース2. 背景色が単色ベタ塗りの場合

【考え方】

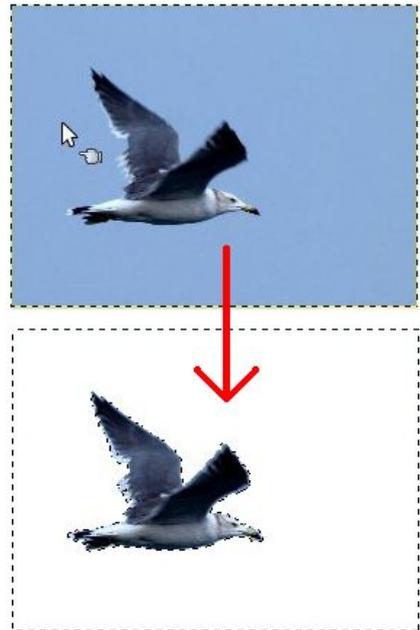
青空部分を白く抜いて、ケース1(背景色が白色のみの場合)と同じように行う。



(具体的な手順)

1. 透明化する図(レイヤー)を選択し、色域選択ツールをクリックする。
2. ツールオプションの[しきい値]を「10～15」にする。
Q. なぜ、しきい値が10～15か?
A. 背景の青空は、意外と色むらがあるから。
3. 色域選択ツールで青空を選択(クリック)する。
※青空の選択され方を見て、しきい値を設定し直す。
4. キーボードの[Delete]キーを押す。
または、[編集-切り取り]コマンド、[Ctrl]+[X]キーを実行する。

→青空が白く切り抜かれる。
5. 以下、ケース1と同じように[アルファチャンネルの追加]と[色を透明度に]コマンドを実行する。



←完成イメージ

「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。
ツールボックスの背景色は白色に設定する。

ケース3. 背景色が単色グラデーション塗りの場合

【考え方】

基本的にはケース2と同じやり方ですが、色域選択ツールのしきい値をむやみに大きくするのではなく、グラデーション部分を数回に分けて白く抜いて、透明化します。

(具体的な手順)

1. 透明化する図(レイヤー)を選択し、自由選択(なげなわ)ツールをクリックする。

2. 自由選択(なげなわ)ツールを使って、気球の下にある建物や樹木を取り除く(切り取る)。

3. 色域選択ツールを選択して、ツールオプションの[しきい値]を「25」にして、青空を選択(クリック)する。

Q. なぜ、しきい値が25か?

A. 背景の青空をザックリと取り除くため。

4. キーボードの[Delete]キーを押す。

または、[編集-切り取り]コマンド、[Ctrl]+[X]キーを実行する。

→青空が白く切り抜かれる。

※青空の大半がなくなるまで、3・4を繰り返す。

5. 取りこぼした青空は、消しゴムツールで消す。

6. 色域選択ツールで、もう一度白色部分を選択(クリック)する。

7. 以下、ケース1・2と同じように[アルファチャンネルの追加]と[色を透明度に]コマンドを実行する。

完成イメージ→



「しまった！」時は、元に戻す[Ctrl]+[Z]。
マウスの右ボタンメニューも試そう。
ツールボックスの背景色は白色に設定する。

ケース4. 背景が複雑な場合

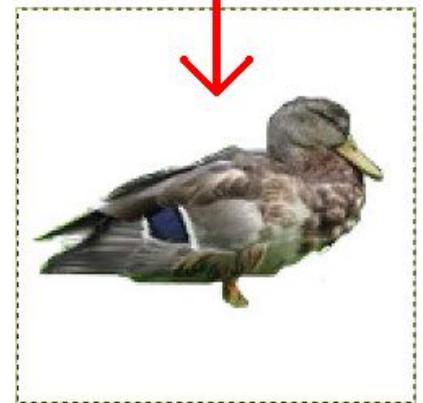
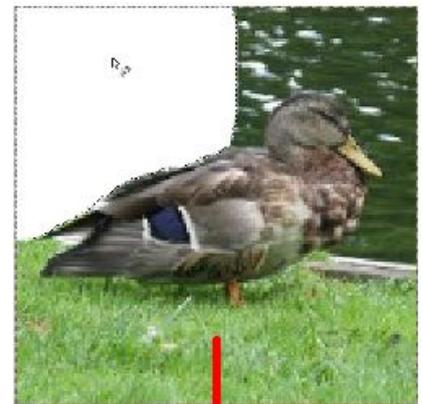
【考え方】

ケース1～3と自由選択(なげなわ)ツールの組み合わせ技です。自由選択(なげなわ)ツールで、透明化したい部分を白く切り取っていき、透明化します。



(具体的な手順)

1. 透明化する図(レイヤー)を選択し、自由選択(なげなわ)ツールをクリックする。
2. 自由選択(なげなわ)ツールを使って、カモの周囲(まわり)少しずつ切り取る。
※200%、400%に拡大表示した方が作業がしやすい
3. 色域選択ツールで、[しきい値]を「15」にして、白色部分を選択(クリック)する。
4. 以下、ケース1・2と同じように[アルファチャンネルの追加]と[色を透明度に]コマンドを実行する。



完成イメージ→

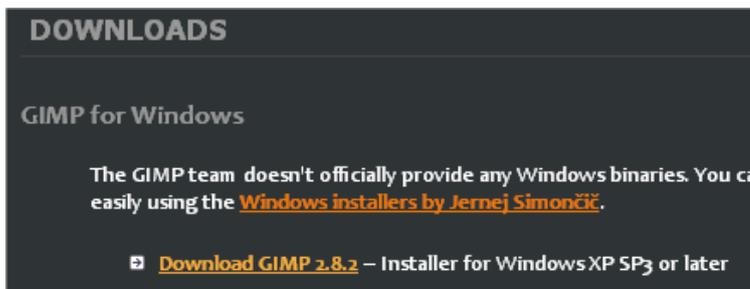


Gimp 2.8.2と日本語ヘルプファイルのダウンロードとインストール方法

○Gimp 2.8.2のダウンロード方法

1. インターネットで次のホームページに進む。
<http://www.gimp.org/downloads/>

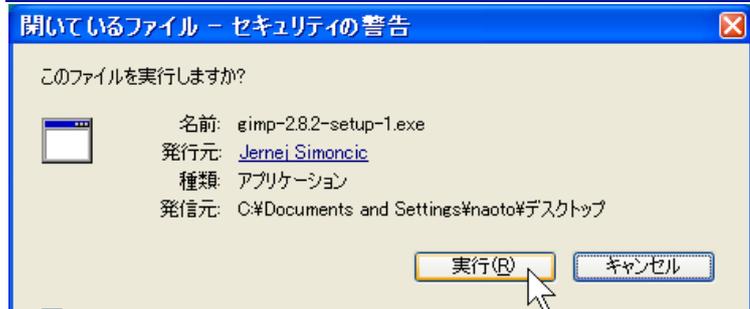
2. DOWNLOADSのGIMP for Windowsにある「Download GIMP 2.8.2」をクリックする。



3. [ファイルを保存] ボタンをクリックする。



4. 途中でセキュリティの警告が出たら、[実行] ボタンをクリックする。

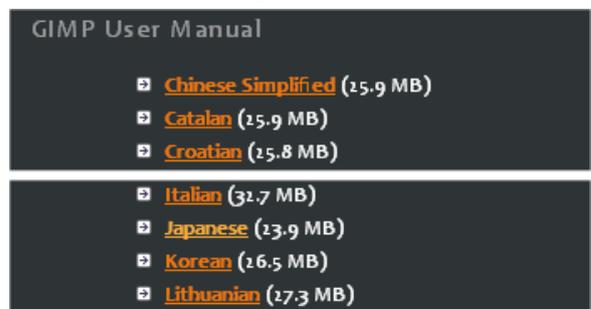


以上で、ダウンロードが始まり、指定した場所(たいていはダウンロードフォルダ)に、gimp-2.8.2-setup.exeファイルが出来ます。

○Gimp 2.8.2用日本語ヘルプファイルのダウンロード方法

上の1~5とほぼ同じですが、2でGIMP User Manualにある「Japanese」をクリックする。

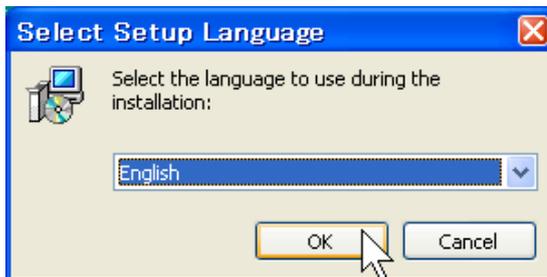
以上で、ダウンロードが始まり、指定した場所(たいていはダウンロードフォルダ)に、gimp-help-2.8.0-ja-setup.exeファイルが出来ます。



○Gimp バージョン2.8.2のインストール方法

1. ダウンロードしたgimp-2.8.2-setup.exeを実行する。

2. 言語の選択は、**英語(English)**のままで、[OK] ボタンをクリックする。



3. [Install] ボタンをクリックする。

--->インストールが進行します。



4. 終わったら、[Finish] ボタンをクリックする。



○Gimp 2.8.2用日本語ヘルプファイルのインストール方法

1. ダウンロードしたgimp-help-2.8.0-ja-setup.exeを実行する。

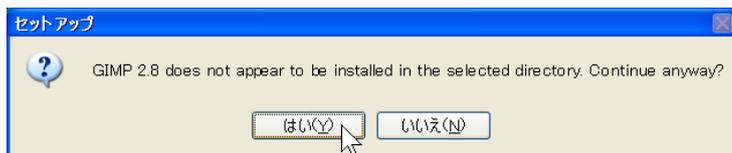
2. [次へ]ボタンをクリックする。



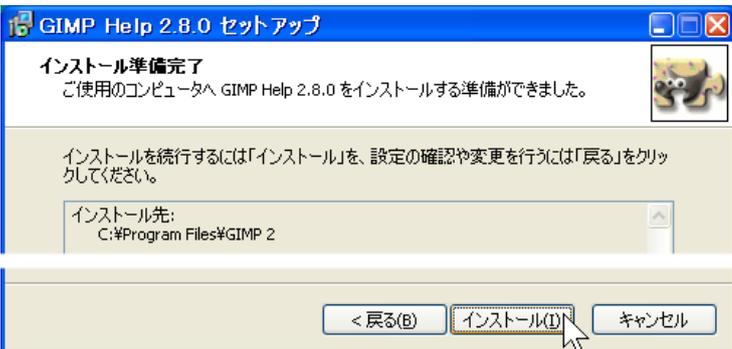
3. インストール先の指定は、デフォルト(初期設定値)のままで、[次へ]ボタンをクリックする。



4. [はい]ボタンをクリックする。



5. [インストール]ボタンをクリックする。



以上で、Gimp 2.8.2用日本語ヘルプファイルのインストールができます。

GIMP「ツールオプションが消えた?!」ら

1. GIMPをマルチウィンドウモードにする。
2. [ウィンドウドッキング可能なダイアログ]コマンドで「ツールオプション」を選択(クリック)する。

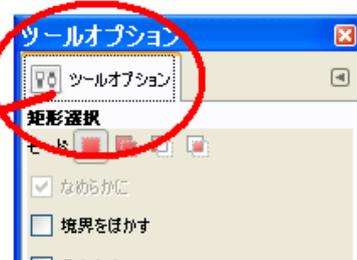
→デスクトップ上に[ツールオプション]ダイアログボックスが表示される。



3. [ツールオプション]タブをツールボックス下部にある「ここにドッキング可能なダイアログボックスを…」にドラッグする。



[ツールオプション]タブをドラッグする。



→ツールオプションがツールボックスの下に入る

4. GIMPをシングルウィンドウに戻す。

以上です。